

知っておきたい小松市の新たな認知症対策

その1 身近な相談場所
認知症ほっとけんステーション!

気軽に認知症について相談でき、認知症に関する情報収集ができる医療機関・事業所などをこまつ認知症ほっとけんステーションとして設置します。

ステーションでは、研修を修了した職員が高齢者総合相談センターと連携しながら、本人や家族からの相談に丁寧に応じます。ステーションは、左下のステッカーが目印です。

お気軽にご相談ください。



小松能美薬剤師会
理事 高林大輔さん



※市内の薬局、介護事業所、医療機関などに設置予定

その2 ついに完成!
こまつはつらつ脳トレ体操

認知症の発症や進行を予防するため、小松市民病院監修のもと、こまつはつらつ脳トレ体操を開発しました。

通常の体操とは違って、脳を刺激する指先・全身運動が盛り込まれています。時間は約60分。みんなで一緒に楽しみながら取り組みます。

いきいきサロンなどでDVDを配布するほか、市ホームページでもご覧いただけます。



ビデオ上映を交えた60分〜90分程度の講義により、認知症とその症状や認知症の人と接するときの心構えなどを学びます。

受講後、認知症サポーターの証としてオレンジリングを配布します。身につけることで、認知症の人や周囲へ「あの人は認知症に対する理解がある人」と一目で分かる目印となります。

認知症サポーターになったからといって、特別に何かの活動を求められることはありません。日常生活の中で認知症の人と出会ったときに、その人の尊厳を損なうことなく、適切な対応をすることが認知症の人や介護する家族の支えとなります。

講座の内容と
受講後の役割は?

認知症サポーター養成講座を受けていただきます。講座の開催は随時、長寿介護課で受け付けており、町内会、学校、商店会、職場、グループなど団体単位での実施となります。

開催は無料で、希望の会場を講師が訪問します。夜間や土・日曜日の開催も可能です。

認知症サポーターに
なるには?

講師を務める
キャラバン・メイトって?

キャラバン・メイトとは、講座開催のための研修を修了した人で、高齢者の福祉や保健・医療の仕事に関わっている人などです。

認知症は「自分達の問題」という認識を持つことが大切です。認知症を知り、気持ちに寄り添った接し方を心掛け、やさしいまちをめざしましょう。



講師(キャラバン・メイト)
林恭弘さん 石郷岡信二さん

認知症の人は様々な不安やストレスを抱えています。混乱しないようにゆっくりと相手のペースに合わせた接し方が重要です。「こんにちは」とさりげなく声を掛け合えるまちにしたいですね。

小学生だって
認知症サポーター!
オレンジリングを
広げよう!

みんなで支える認知症
あなたもサポーターになりませんか?

認知症サポーター養成講座を受講した芦城小学校4年生の皆さん

問い合わせ 長寿介護課 ☎24・8168

尊厳を持って最期まで自分らしくありたい

認知症は、誰にでも起こりうる病気です。65歳以上の7人に1人、予備群も含めると4人に1人が認知症と言われ、高齢化が進む今後は更に増加すると見込まれています。

市では、認知症になっても安心して暮らせるやさしいまちづくりを進めています。皆さんも認知症に関する正しい知識と理解を深め、認知症の人やその家族を温かく見守る「認知症サポーター」になりませんか。



キッズや
若者にも広がる
「オレンジリング」の輪

11月1日(火)に芦城小学校で開催された認知症サポーター養成講座では、4年生の皆さんが認知症の症状や接し方を学びました。



1月22日(日)、認知症について考えよう!
2つの講座を同日開催

◎認知症サポーター養成講座

認知症高齢者への接し方を学んで、サポーターになろう。
とき 10時〜11時30分
講師 キャラバン・メイト
対象 どなたでも(個人単位)

New!

◎認知症ゴールドサポーター養成講座

より深く認知症を理解するためのステップアップ講座です。
とき 13時30分〜16時30分
講師 村井医師(恵仁クリニック)ほか
対象 認知症サポーター

ところ いずれも第一地区コミュニティセンター多目的ホール
定員 いずれも60人(先着順) 申し込み 長寿介護課 ☎24・8168